世論、世論をとるもの、他法をとるものあるときも、その言論をとるものあるときも、その言論をとるものあるときも、その言論をとるものあるときも、その言論をとるものあるときも、その言論をとるものあるときも、その言論をとるものあるときも、その言論をとるものあるときも、その言論をとるものあるときも、その言論をとるものあるときも、その言論をとるものあるときも、その言論をとるものあるときも、その言論をとるものあるときも。
人生に苦しみあるのならば、死ぬべきかと考へてみてみよう。誰が死ぬべきか、誰が生きるべきか、皆無に等しい。それは、今も昔も、人の生活の問題として常に起こっていることである。
大悲の善巧

白

告

九華 光常

世尊度世に至る心と
信解者を度し

心

信解者

度世

心

信解者
燃え亡きものに

斜だたるに

定系に

Partial text extraction failed.
心身脱落

（复印件）
このページは日本語で書かれた文章を含む書物のページです。内容は複雑で、日本語の書写体であるため、完全に読み解ることは困難である可能性があります。このページの内容を詳細に説明することは現在のテクノロジーでは難しいです。
千葉之夜

甲

之

光

にしにへの人の懐みぬ鬼の松原古で今世に遠

深

夜

にしにへの人の懐みぬ鬼の松原古で今世に遠

風

にしにへの人の懐みぬ鬼の松原古で今世に遠
すさ・び

今朝の初日の出を眺めながら、もろもろの心にせよ

草被る水に FLOATING

ふるく草

裕子

修業時

外行者

かつじ

一番谷

近藤邦夫

春よ

野の間薄

若宮

昭和三〇年四月

找詩集

岩野邦男

昭和三〇年四月

找詩集

岩野邦男
求道書館設立喜捨金

受領報告

求道書館設立趣意書

求道書館設立

内外日報

毎號六頁

中外日報

京都三條上中外日報社